

近・現代哲学

| | | | |
|--------------|-----------------------|-----|------|
| 責任者・コーディネーター | 人間科学科（哲学分野） 遠藤 寿一 准教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 人間科学科（哲学分野） | | |
| 担当教員 | 遠藤 寿一 准教授 | | |
| 対象学年 | 第1学年 | 期間 | 前期 |
| 区分 | 講義 | 時間数 | 21時間 |
| 単位数 | 1単位 | | |

■ 学習方針（講義概要等）

古代ギリシアの哲学者ソクラテスは自らの死を目前に控え、「大切にしなければならないのは、ただ生きるということではなく、よく生きるということなのだ」と友人たち語った。しかし、「よく生きる」ためには私たちはどのようにすればよいのだろうか。本講義では、功利主義・カント倫理学・社会契約説・徳の倫理など、「よく生きる」ための原理として提唱されてきた様々な倫理的立場を検討し、これらの理論が具体的な問題に対して与える指針を検討することによって、私たちにとって最善の生き方とは何かを考える。又、これらの諸倫理理論と現実の医療の問題とがどのように関係しているかも併せて検討する。

■ 一般目標（GIO）

複数の倫理的観点からものごとを眺め、行為の是非を多角的に分析する方法を学ぶ。また、倫理理論と現実の問題を結びつけて考えることのできる応用力を身につける。

■ 到達目標（SBO）

「善」「悪」「尊厳」「正義」などの基本的な倫理概念に関する、功利主義、カント倫理学、徳の倫理学の主張を説明することができる。またこれら倫理諸理論についての理解を踏まえ、単なる思い込みや感情によるのではなく、理論的に自分の倫理的志向を整理し、自覚的な行動指針を立てることができる。また、医療倫理原則を巡る議論を学ぶことを通じて、これらの原則を利用するための基礎知識を身につける。

■ 講義日程

【(矢) 東 1-A 講義室】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|------|----|----|--------|-------|---|
| 4/16 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 道徳理論の必要条件とは何かを考える。 |
| 4/23 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 功利主義 (1) 行為功利主義と規則功利主義の違いを理解する。 |
| 5/7 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 功利主義 (2) 功利主義に対する批判と擁護論を検討する。 |
| 5/14 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | カント倫理学 (1) 功利主義とカント倫理学との違いを理解する。 |
| 5/21 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | カント倫理学 (2) カントの人格性の原理を検討する。 |
| 5/28 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 社会契約説 (1) ホッブスらの古典的社会契約説を理解する |
| 6/4 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 社会契約説 (2) 「囚人のジレンマ」を通じて、社会契約説の考え方を検討する。 |
| 6/11 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | フェミニズムとケアの倫理 (1) 「ハイイツのジレンマ」を通じてコールバーグとギリガンの考えを理解する。 |
| 6/18 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | フェミニズムとケアの倫理 (2) 正義の倫理とケアの倫理の関係について考える。 |
| 6/25 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 徳の倫理 (1) アリストテレスの思想を通じて、徳の倫理を理解する。 |
| 7/2 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 徳の倫理 (2) 徳の倫理、功利主義、カン |

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|-------------|----------|----------|--------|-------|--|
| | | | | | ト倫理学の関係について考える。 |
| 7/9 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 目指すべき道徳理論とはどのようなものかを検討する。 |
| <u>7/17</u> | <u>火</u> | <u>2</u> | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 医療と倫理 (1) 医療における倫理原則について考える。 |
| 8/20 | 月 | 3 | 哲学分野 | 遠藤准教授 | 医療と倫理 (2) 医療倫理原則と社会のありかたの関係について考える。 |

■ 教科書・参考書

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-------------|--------------|-----------|------|
| 教 | 現実をみつめる道徳哲学 | ジェームズ・レイチェルズ | 晃洋書房 | 2003 |
| 参 | 生命と人生の倫理 | 清水哲郎、伊坂青司 | 放送大学教育振興会 | 2005 |

■ 成績評価方法

原則として以下のように成績を評価する。

平常点 30 点（出席＋毎回の課題）＋筆記試験（70 点）＝100 点

■ 特記事項・その他

注) 7月17日(火)の2時限目に授業を行う。

■ 授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|--------------------------------------|----|----------|
| 講義 | パソコン (FAITH Fortission Si35300X/DVR) | 1 | 講義資料作成、他 |
| 講義 | ノート型 PC (富士通 FMV-BIBLO LooxC/E50) | 1 | 講義資料作成、他 |
| 講義 | 書画カメラ・DVD プレーヤーセット (エルモ、東芝、他) | 1 | 講義資料の提示 |